

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム桃源の丘

作成日: 令和7年 3月 25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化に係る指針が現在ありません。法令での規程はないため不具合はないと法人が判断したのでしたらかまいませんが、全ての事業所にあるものですので、一度検討することを期待します	重度化の指針を作成し法人内病院の医師と連携をしスムーズなサービスを提供する。	重度化に係る指針を法人内の病院と連携し作成をしていき、利用者様の急変時などに主治医と連携しスムーズな対応をできるようにしていく。	12ヶ月
2	6	「身体拘束委員会」は「身体拘束防止委員会」としたほうが適切のように考えます。また、議事録は職員間で回覧(現在は研修のとき伝えています)することを期待します	利用者様の尊厳、その人らしさを守っていくため身体拘束ゼロを継続していく。	身体拘束防止委員会を開催後、議事録を回覧出来るようにし、1週間ほどは朝礼などで報告もしていく。	12ヶ月
3	35	各階の出入口がオートロックのため、停電では開閉に困ることを想定し、非常階段の使用についてどのように誘導するかについて話し合っている	災害時の想定を職員1人1人が理解し動けるように訓練内容の見直しをする。	夜間想定の実施を訓練として行う。訓練計画を経て法人内や地域や消防機関などの連携を試みる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。